

## 新開発製品の実績向上

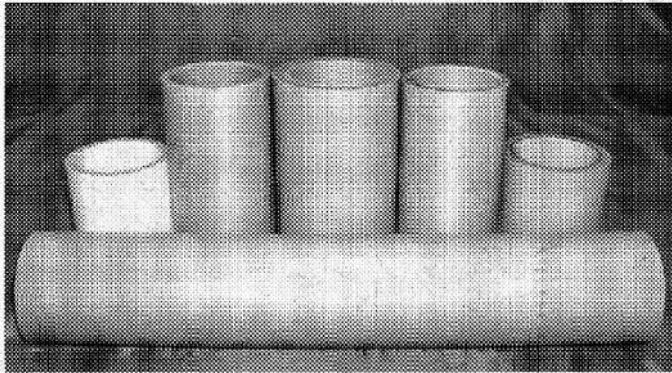
### 強度アップの超硬質紙管など

日本紙管工業（大阪  
市旭区、☎06・69  
52・0674）は、新

製品開発に注力してお  
り、既製の紙管と比較し  
て強度を約30%アップ  
した「超硬質紙管」など  
で実績を拡大している。  
同社では最近、新製  
品として段差痕軽減型  
シームレス紙管「クッ  
ションハイコア」、紙  
管への巻出用「極薄両

面テープ」、超硬質紙  
管」などを相次ぎ上市  
している。

なかでも「超硬質紙  
管」は、紙管の高強度  
化を図るため原材料や  
生産設備および新加工  
技術を研究し、既存の  
紙管と比較して強度を  
約30%向上し寸法安定  
性も高めた製品。  
フィルムメーカーで  
は現在、紙管の扁平耐圧



超硬質紙管

を巻いて対応して  
いる。またフィル  
ム製品の巻きメー  
トルを増やしたい  
とのニーズもある  
など、高強度紙管  
の要望が増加して  
いる点に対応した  
もの。

扁平耐圧強度を  
向上させることに  
より、「紙管のた  
わみ・振れなど」を抑  
制することで、フィル  
ム巻取り時のシワを防  
ぎ余尺をつける必要が  
なくなる。その結果、

歩留まりが向上し、さら  
に顧客満足度が高まる。

同じ規格で、現状の

巻きメートル量から1

・5倍の巻き量に対応

でき、作業効率が向上

する。紙管肉厚の薄肉

化によりコストダウン

を実現するとともに、

原紙使用量の削減によ

り環境配慮に貢献する。

内面に防塵紙を使用

し端面を防塵加工する

ことで樹脂管の代替品

としても対応可能。特

殊原紙の使用により吸

湿性が極めて低く水分

の変化量が小さいため  
寸法安定性に優れる。

紙管強度設計、内面

防塵仕様、端面防塵処

理がそれぞれ可能。

規格は、内径3<sub>インチ</sub>と

6<sub>インチ</sub>、肉厚5<sub>〜</sub>15<sub>ミリ</sub>、

長さ最小150<sub>〜</sub>最大

2500<sub>ミリ</sub>。